

## 2015 年度 小委員会活動成果報告

(2016 年 2 月 4 日作成)

小委員会名	ユーザー・オリエンティド・デザイン小委員会	主 査 名：西出 和彦 就任年月：2014 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画本委員会 (計画基礎運営委員会)	委員長名：大原 一興 主 査 名：西出 和彦
設 置 期 間	2012 年 4 月 ～ 2016 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的：「ユーザー・オリエンティド」(利用者中心)の理念を活動方針とし、いかなる心身状況でも利用可能な建築環境の構築を目指した研究活動を展開</li> <li>・今年度課題：4年間の活動のまとめとしての刊行物の発行、及びそれに関連したシンポジウム等の開催。</li> </ul>	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有 主査：西出和彦(東京大学)、幹事：菅原麻衣子(東洋大学)、松田雄二(東京大学)、委員：石垣文(広島大学)、石橋達勇(北海学園大学)、佐藤克志(日本女子大学)、鈴 義弘(大分大学)、田中賢(日本福祉大学)、富永哲雄(大阪市立大学)、西野 亜希子(東京大学)、原利明(鹿島建設)、藤井容子(香川大学)、山崎晋(小山工業高等専門学校)室崎千重(奈良女子大学)、加藤悠介(金城学院大学)計15名	
設置 WG (WG名:目的)	「ユーザーのニーズを反映した建築計画・デザインを生み出す手法」(仮称)出版 WG：次の3つの事柄をまとめ、委員会活動の集大成として書籍の出版を目指す。1)新たなユーザーの「発見」、2)新たなユーザーニーズの把握と具体的な建築への展開、3)それら具体的な成果の一般化、普遍化の可能性の追求	
2015 年度予算	135,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	1 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 本年度は、本委員会の設置期間における活動の集大成としての刊行物「利用にとって本当のニーズを活かすための建築デザイナー施設別の事例から- (仮題)」の執筆、編集活動を主に行った。 2. 刊行物は、原稿調整の最終段階であるが、今年度の出版は内容をより精査するために断念した。現在は、学会の査読回答を作成しつつ、より内容の充実を図っている。 3. 刊行物の出版予定日は、2016 年 9 月末日である。
委員会活動の問題点・課題	刊行物をより良いものとするべく編集に時間がかかり、年度内刊行が叶わなかった。

\*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。  
 \*表中の「(書名)」等の赤文字は、記述を誘導するための説明である。記載の有無にかかわらず最終的には削除のうえ提出すること。